

はたち
20歳のゆめたろうプラザへ

武豊町は、令和6年に町制70周年を迎えます。そして、ゆめたろうプラザの愛称で親しまれている町民会館は、開館20周年を迎えます。この記念の節目を町民の皆様とともに祝うことができますことに深い喜びを感じております。

開館当初から長きにわたり、町民や地域の皆様から親しまれ、多くのご利用を頂いていることは、関係各位のご支援ご協力の賜物であることと大変感謝しております。

本町では、町制70周年を記念して各種のイベントを行います。ここ町民会館でも、開館20周年を記念し、年間を通して様々な事業を予定しております。この機会に多くの皆様に足を運んで頂き、一緒になってお祝いしたいと思っております。

今後も町民会館が、皆様から愛され親しまれる町の文化振興の拠点として、更なる文化芸術の振興を図ってまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

武豊町長

初山芳輝



この度、開館20周年を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。武豊町民会館ゆめたろうプラザは、武豊町の文化創造の拠点として、長きにわたり様々な事業を展開して頂き、武豊町内外の皆様様に「ゆめプラ」として親しまれています。開館準備から今日に至るまで、関わられたすべての皆様様に心より感謝と敬意を表したいと思います。また、町内の小中学校も大変お世話になっています。小学校4年生を対象としたアウトリーチによる一流アーティストの演奏を通して、子どもたちは音楽の楽しさを感じています。また、学校行事である合唱コンクールや合唱祭でも輝きホールを使っており、本格的なホールでの合唱は、子どもたちにとって励みになっています。このように、武豊町の子どもたちは、ゆめたろうプラザのおかげで文化を身近なものとして感じ、豊かな感性を身につけています。今後も、武豊町の文化創造の拠点としての活動をご期待申し上げます。

武豊町教育委員会 教育長

榊原寛二



武豊町民会館ゆめたろうプラザは、平成16(2004)年9月に開館し今年20周年となります。「人が育ち まちを育てる 文化のまち武豊」を文化創造の指針に策定し、基本理念として運営されてきました。

文化創造の拠点として位置付け、住民との協働で取り組みを推進して、事業の着実な実施や運営体制における町民・専門家・行政のパートナーシップについて、一定の成果を得ることができました。

今後は、情報社会に続く新たな社会として「超スマート社会」の到来が予測され、新しい舞台芸術が創造されるようになっていきます。社会が新たな行動様式の確立を模索する中で、人々の生活を支えてきた都市機能の在り方や役割が変化しています。

文化芸術を暮らしに身近なものとして捉え、物事に興味を持ち日常生活の中で感動する姿勢を持って、誰もが参加・行動することができる取組を展開します。

館長

竹本義明



2004年に、地域の文化創造の拠点として住民と行政が手を取り合って創り上げた「武豊町民会館ゆめたろうプラザ」が産声を上げて、今年で20周年を迎えます。

田園風景の中に浮かぶ“船をモチーフにした”素朴な文化ホールは、地域住民の文化創造の拠点として常に人が集い、利用され活用されてきました。

2013年には、「建設構想段階から一貫して“住民参画型の運営”を推進し、多彩な事業を展開、住民参画により地域の文化力の向上に貢献した」ことが評価され、ゆめたろうプラザが「地域創造大賞(総務大臣賞)」を受賞しました。これが町にとっても私たちにとっても、大きな自信と励みになりました。

住民主体で企画運営を行っているホールは他の地域にもありますが、本館のように、住民と行政との協働のパートナーシップが築かれている施設は非常に珍しく、次世代の運営方式として、全国から注目を集めています。

今後もゆめたろうプラザの存在価値を大切に、今までの実績やネットワークの活用、さらなる工夫のもとに、上質な企画をタイムリーにお届けできるよう、アンテナを張り巡らせて頑張っていきたいと思います。

二十歳を迎え、成熟しつつある大人のホールとして、更なる挑戦をしつづけ、新しい文化の発信を皆様とともに進めていきます。

特定非営利活動法人武豊文化創造協会
(NPOたけとよ)

理事長 左右木星志

